MEE

プログラミングユニット

形名

EPU01

ユーザーズマニュアル
（QCPU/ACPU/QnACPU対応）

● 安全上のご注意 ●

（ご使用前に必ずお読みください）

本製品のご使用に際しては，各製品に付属しているマニュアルおよび付属マニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に，安全に対して充分に注意を払って，正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

なお，この注意事項は，本製品について記載しています。

シーケンサシステムとしての安全上のご注意に関しては，CPUユニットのユーザーズマニュアルをお読みください。

このマニュアルでは，安全注意事項のランクを「危険」，「注意」として区分してあります。

⚠危険	取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。

なお，⚠注意に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

製品に付属しているマニュアルは必要なときに取り出して読めるよう大切に保管すると共に，必ず最終需要家までお届けいただくようお願いいたします。

【設計上の注意事項】

⚠危険
● 周辺機器から運転中のシーケンサに対するデータ変更，プログラム変更，状態制御は常にシステム全体が安全側に働くようにシーケンサシステムの外部でインタロック回路を構成してください。 また，周辺機器からシーケンサCPUへのオンライン操作において，ケーブルの接続不良などによる交信異常発生時のシステムとして処置方法を取り決めておいてください。

【取付け上の注意事項】

⚠危険
● EPU01の消費電流DC5V 0.4Aは，基本ベースユニットの電源ユニットから供給されます。 EPU01を接続する前に，電源ユニットの出力電流が不足しないことを確認してください。 出力電流が不足すると，シーケンサは演算を停止し，出力は全点OFFします。

⚠注意
● EPU01は，ユーザーズマニュアル記載の一般仕様の環境で使用してください。 一般仕様の範囲以外の環境で使用すると，感電，火災，誤動作，製品の損傷あるいは劣化の原因になります。 ● EPU01に，切粉や配線クズなどの異物が入らないように注意してください。 火災，故障，誤動作の原因になります。 ● EPU01を取り付けるとき，コネクタを確実に装着してください。 接触不良により，誤動作の原因になります。

【立上げ・保守時の注意事項】

⚠危険
● 周辺機器を運転中のCPUユニットに接続してオンライン操作（特にプログラム変更，強制出力，運転状態の変更）は，マニュアルを熟読して十分に安全を確認してから行ってください。 操作ミスにより機械の破損や事故の原因になります。 ● EPU01の分解，改造はしないでください。 故障，誤動作，ケガ，火災の原因になります。

【廃棄時の注意事項】

⚠注意
● 製品を廃棄するときは，産業廃棄物として扱ってください。

改 定 履 歴

※取扱説明書番号は，本説明書の裏表紙の右下に記載してあります。

印刷日付	※取扱説明書番号	改 定 内 容
2000年4月	50EM8074-A	初版印刷
2000年9月	50EM8074-B	一部修正 1章，付録1

本書によって，工業所有権その他の権利の実施に対する保証，または実施権を許諾するものではありません。また本書の掲載内容の使用により起因する工業所有権上の諸問題については，当社は一切その責任を負うことができません。

© 2000 MITSUBISHI ELECTRIC ENGINEERING COMPANY LIMITED

目　次

1. 概　　要 ····· 1
1.1 特　　長 ····· 1
1.2 製品構成 ····· 2
2. システム構成 ····· 2
3. 仕　　様 ····· 3
3.1 一般仕様 ····· 3
3.2 性能仕様 ····· 3
4. 取扱い上の注意事項 ····· 4
5. 各部の名称 ····· 5
5.1 各部の名称 ····· 5
5.2 キー配列とキー機能一覧 ····· 6
付録1 キー入力方法早見表 ····· 8
付録2 外形寸法図 ····· 23

マニュアルについて

本製品に関連するマニュアルは，下記のものがあります。
必要に応じて本表を参考にしてご依頼ください。

詳細マニュアル

マニュアル名称	形　　名	標準価格
EPU01形プログラミングユニットオペレーティング マニュアル（QCPU（Qモード）対応編）	EPU01-MAN-Q	¥1500
EPU01形プログラミングユニットオペレーティング マニュアル（QCPU（Aモード），ACPU対応編）	EPU01-MAN-A	¥1500
EPU01形プログラミングユニットオペレーティング マニュアル（QnACPU対応編）	EPU01-MAN-QNA	¥1500

1. 概　要

本マニュアルは，EPU01形プログラミングユニット（以下，EPU01と略す。）の仕様，取扱い，操作方法などについて説明したものです。

EPU01は三菱電機㈱社製MELSECシーケンサCPU（以下，シーケンサCPUと略す）と接続し，シーケンスプログラムの読出し／書込み機能，デバイスのモニタ／テスト機能などをもつ周辺機器です。

1.1 特　長

(1) MELSEC-Qシリーズの CPUに対応

機能バージョンA シリアルNo.02092**********の上5桁が02092以降のQ02CPU,Q02HCPU,Q06HCPU,Q12HCPU,Q25HCPUの周辺機器として使用できます。また，機能バージョンB以降のCPUと組み合わせて使用することにより，マルチCPUシステムの任意のCPUにアクセスすることができます。

(2) MELSEC-A/QnAシリーズの CPUにも対応

既存のMELSEC-A/QnAシリーズにも対応し，アドオン方式による接続も可能です。

(3) 三菱電機㈱製プログラミングユニットとの互換性

操作性は三菱電機㈱製プログラミングユニット（A8UPU/Q6PUなど）と同じであるため，抵抗なくご使用いただけます。

(4) RUN中書込みが可能

シーケンスプログラムのステップ数が変わる場合も含め，シーケンサCPUのRUN中にシーケンスプログラムを変更できます。

(5) ヘルプ機能の充実

対話によるメニュー選択形式で読出し／書込み／挿入／削除／モニタ／テストの操作ができるヘルプ機能をサポートしました。

(6) SFCのプログラム編集が可能

ステップや移行条件のプログラムを，EPU01から簡単に修正できます。

(7) パラメータ・シーケンスプログラムなどのメンテナンスが容易

シーケンサCPUのパラメータおよびシーケンスプログラムをチェックしたり，部分修正／変更／追加／モニタが容易に行えます。

(8) プログラム／内蔵メモリ⇔メモリカード間でファイルコピーが行えます。

下記メモリカードにそれぞれファイルのコピーが行えます。

QCPU(Qモード)使用時　：メモリカードRAM，メモリカードATA ROM

QnACPU使用時　　：ICメモリカード（SRAM，EEPROM）

(9) 各デバイスのカナコメント表示が可能

ヘルプ機能により，カーソル位置のデバイスのコメントを表示することができます。

(10) 時計表示設定が可能

シーケンサCPU内の時計データを表示設定することができます。

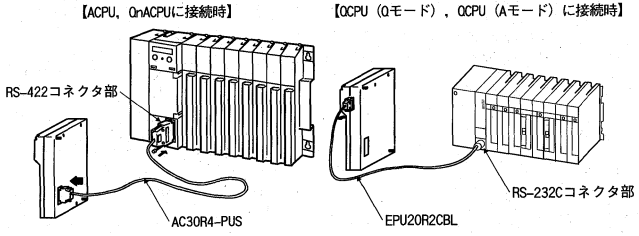
1.2 製品構成

形　名	品　名	備　考	
EPU01	プログラミングユニット	――	同梱
	RS-422コネクタ保護キャップ	出荷時はコネクタに取付け	
	壁掛け用ストラップ	出荷時はユニットに取付け	
	ユーザーズマニュアル	――	
EPU20R2CBL	Qシリーズ接続用RS-232Cケーブル	――	別売
AC30R4-PUS	A,QnAシリーズ接続用RS-422ケーブル	三菱電機㈱製につき,三菱電機㈱よりご購入ください。	
A8PU-BG	ソフトケース		

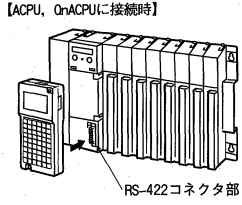
2. システム構成

EPU01は下記のいずれかの接続方式でシーケンサCPUと接続して使用します。

(1) ハンドヘルド方式（EPU01をケーブルで接続する。）



(2) アドオン方式（EPU01を直接取り付ける。）



※ ACPU，QnACPUでもアドオン方式で接続できないシーケンサCPUがあります。
詳細は，使用するシーケンサCPUに対応したEPU01オペレーティングマニュアルを参照してください。

3. 仕　様

3.1 一般仕様

項　目	仕　様				
周囲温度	使用時	0～40℃			
	保存時	-20～70℃			
周囲湿度	使用時	20～85%RH以下（結露なきこと）			
	保存時	10～90%RH以下（結露なきこと）			
耐振動	JIS-C0911に準拠	周波数	加速度	振幅	掃引回数
		10～55Hz	―――	0.75mm	10回
		55～150Hz	9.8m/S^2	―――	(1オクターブ／1分)
耐衝撃	JIS-C0912に準拠，（98m/S^2，X･Y･Z各方向3回）				
使用雰囲気	腐食性ガス，じんあいがひどくないこと				
冷却方式	自冷				

3.2 性能仕様

項　目	仕　様	
接続対象	QCPU（Qモード），QCPU（Aモード），ACPU，QnACPU （詳細は使用するシーケンサCPUに対応したEPU01オペレーティングマニュアル参照）	
電源･消費電流	接続対象より受電（DC5V 0.4A）	
接続方式	ハンドヘルド	QCPU（Qモード），QCPU（Aモード）：RS-232ケーブルにより接続 ACPU，QnACPU　　：RS-422ケーブルにより接続
	アドオン	シーケンサCPU本体にワンタッチ方式で直接取り付ける。
表示方式	液晶による4行×20文字（カーソル付）の文字表示，表示部のバックライト付	
操作方式	54個の操作キー（ポリエステルフィルムにて被覆）	
キー操作確認	ブザー	
表示器の寿命	100000時間以上（使用時の周囲温度が15～35℃，周囲湿度が65%RH以下のとき）	
バックライトの寿命	50000時間以上（使用時の周囲温度が25℃のとき） バックライト点灯時，10分間以上キー入力がないと消灯する。	
キー寿命	100万回	
外部インタフェース	RS-232（本体右横）	EPU20R2CBLケーブル接続
	RS-422（本体裏面）	アドオン接続，AC30R4-PUSケーブル接続
外形寸法(mm)	188（高さ）×96（幅）×44.5（奥行）	
質量(kg)	0.5	

4. 取扱い上の注意事項

EPU01の取扱い上の注意事項を説明します。

(1) ケースはプラスチック製です。落下させたり強い衝撃を与えないようにしてください。

(2) EPU01の分解，改造はしないでください。
故障，誤動作，ケガ，火災の原因になります。

(3) 本体を使用しないときは，次のようにコネクタ部を取り扱ってください。
①本体右横のRS-232コネクタ部には，カバーを取り付けておいてください。
②本体裏面のRS-422コネクタ部には，保護キャップを取り付けておいてください。

(4) 使用する時，シーケンサCPUとの接続で使用しないコネクタ部には，カバーまたは保護キャップをつけておいてください。

(5) コネクタピンには，手でさわらないでください。

(6) シーケンサCPUから切り離すときは，[クリア]キーを入力してから行ってください。

(7) キーボード部は，汚れたからといって，シンナー，アルコール，フレオン類は使わないでください。

(8) キー入力操作は必ず指で行ってください。
鋭利な物で操作すると故障の原因になります。
手袋をはめてキー入力すると，キー部の文字が消える原因となります。
(キーを押すとブザー音により，キー入力の確認ができます。)

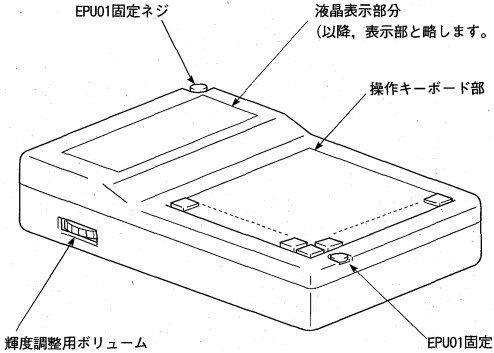
(9) ACPUおよびQnACPUにアドオン接続する場合は，ストラップ取付けネジを緩め，ストラップを取りはずしてから行ってください。

(10) ネジの締付けは，下記の範囲内で行ってください。

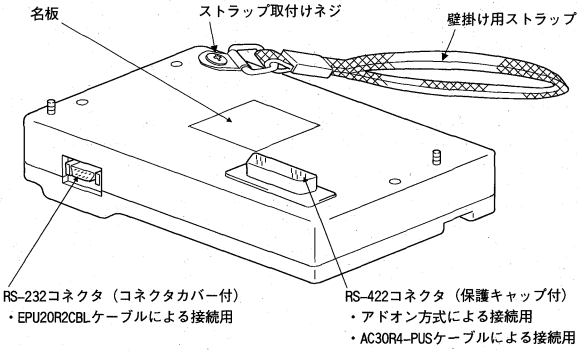
ネジの箇所	締付けトルク範囲
EPU01固定ネジ (M3)	39～49N·cm
ストラップ取付けネジ (M3)	42～57N·cm

5.1 各部の名称

（表面）

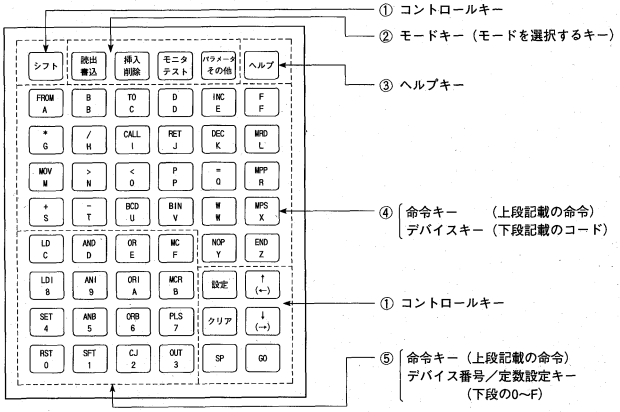


（裏面）



5.2 キー配列とキー機能一覧

操作キーボード部のキー配列と機能を下記に示します。



No.	名　称	キー	機能概要
①	コント ロールキー	設定	ステップ番号の入力開始または自動スクロール開始などを宣言するキー。（使用例は，使用するCPUに対応したEPU01オペレーティングマニュアルを参照してください。） 2つの目的で使用できる各キーの，下段を有効キーに切り換えるキー。上段と下段のどちらが有効かは，表示部の表示で確認可能。
		シフト	2つの目的で使用できる各キーの上段を有効に切り換えるキー。上段と下段のどちらが有効かは，表示部の表示で確認可能。
		クリア	パラメータ，その他モード，ヘルプ機能以外のとき クリアキーが入力されると，モード選択が行われた状態に戻る。 （モードを除いて，入力されていた命令やデバイス番号などがクリアされる。） キー操作を間違えた場合の操作のやり直し時に使用する。
			パラメータモードのとき 処理を中断する。再開時は，そのまま操作を続行する。
			その他モードのとき1つ前の表示に戻る。
			ヘルプ機能使用時 ヘルプ キー入力時の表示に戻る。
			EPU01をシーケンサCPUから取りはずすとき 実行中のEPU01の処理を中断する。 取りはずすときは，必ずクリア キーを入力すること。

No.	名　称	キー	機能概要
①	コント ロールキー	SP	命令部とデバイス名間など，空白を入力するキー。
		↑(←) ～ ↓(→)	表示部のカーソル（▶，■）移動，またはスクロール表示のスクロール方向指示をするキー。
		GO	一連のキー操作の最後に押し，それまでのキー操作の内容を実行させるキー。一連のキー操作の内容を表示部で確認してから，キー入力すること。
②	モードキー	読出 書込 ～ パラメータ その他	EPU01の各モードを選択するキー。 上段のモードと下段のモードは，[シフト]キーの入力で切り換える。
③	ヘルプキー	ヘルプ	ヘルプ機能をサポートしているモードでのヘルプ機能を選択するキー。 (対象モードは，使用するCPUに対応したEPU01オペレーティングマニュアルを参照してください。)
④	命令キー デバイス キー	FROM A ～ END Z	命令，デバイス名，定数入力時のK/Hを入力するキー。 上段と下段の有効キーの切換えを必要とする場合のみ，[シフト]，[設定]キーの入力で切換えが可能となる。
⑤	命令キー デバイス 番号／定数 設定キー	RST 0 ～ MC F	命令，デバイス番号，定数を入力するキー。 上段と下段の有効キーの切換えを必要とする場合のみ，[シフト]，[設定]キーの入力で切換えが可能となる。

付録1　キー入力方法早見表

EPU01は操作キーボード部のキーを用いて，目的にあったキー入力を行うことにより操作を行います。

基本的な操作方法と操作内容を下記に示しますので，目的に合わせて操作を行ってください。

各機能の詳細については，使用するシーケンサCPUに対応したEPU01オペレーティングマニュアルを参照してください。

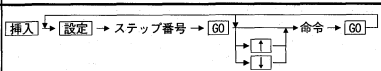
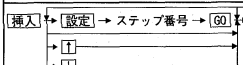
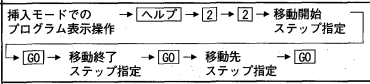
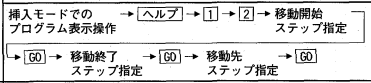
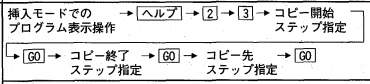
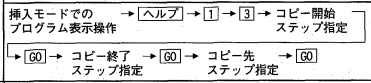
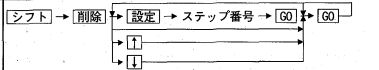
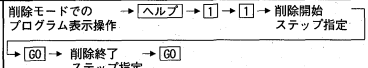
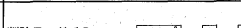
なお，表中の記号は下記のような内容を示しています。

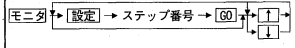
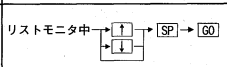
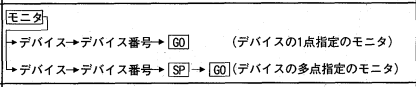
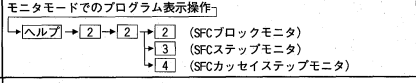
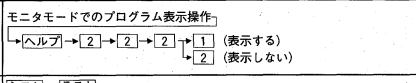
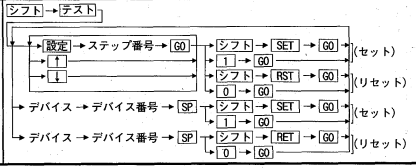
Q：QCPU(Qモード)を示す　A：QCPU(Aモード),ACPUを示す　QnA：QnACPUを示す
R：シーケンサCPUがRUN中　S：シーケンサCPUがSTOP中
○：機能あり　△：制約ありで操作可　×：操作不可　－：機能なし

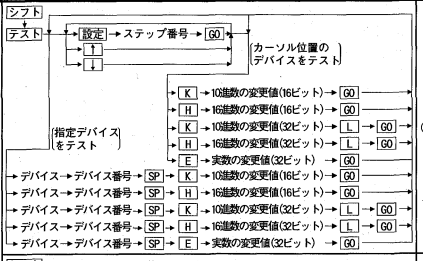
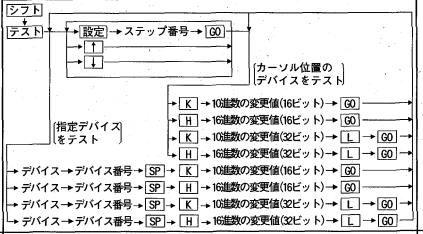
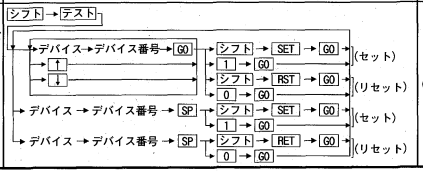
操作内容	キー入力順序（基本操作）	シーケンサCPU					
		Q		A		QnA	
		R	S	R	S	R	S
EPU01のリセット	RST＋GO	○	○	○	○	○	○
立ち上げ時のパスワード入力	ヘルプ→4→GO→パスワード→GO	○	○	－	－	－	－
立ち上げ時のキーワード入力	キーワード→GO	－	－	○	○	－	－
	ヘルプ→4→GO→キーワード→GO	－	－	－	－	○	○
プログラムモード選択 ・RUN中書込みする/しない ・モニタ・テストモードのみ可	シフト→その他→4→1→↑/↓→GO→↑/↓→GO →↑/↓→GO	○	○	○	○	○	○
モード選択	モードキー（読出，挿入，モニタ，パラメータ） シフト→モードキー（書込，削除，テスト，その他）	○	○	○	○	○	○
有効キーの切換え	シフト または 設定	○	○	○	○	○	○
誤入力時の処置	クリア，モードキーまたは シフト→モードキー	○	○	○	○	○	○
ヘルプ機能の共通操作［書込・挿入モード］ ・命令ヘルプ(命令の表示と選択)	書込・挿入モードでの プログラム表示操作→ヘルプ→2→1→2→命令の頭文字を入力 →GO→↑/↓→該当する命令の番号を入力→該当命令のソース，ディスティネーションを入力→GO	○	○	－	－	○	○
	書込・挿入モードでの プログラム表示操作→ヘルプ→1→1→1→命令の頭文字を入力 →GO→↑/↓→該当する命令の番号を入力→該当命令のソース，ディスティネーションを入力→GO	－	－	△	○	－	－

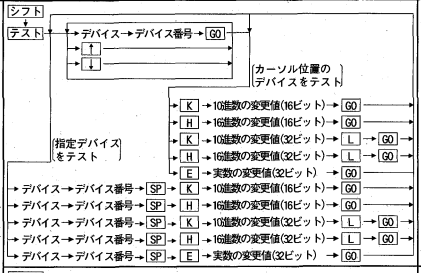
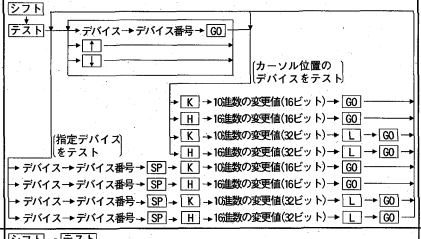
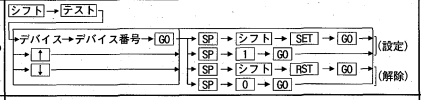
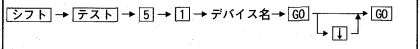
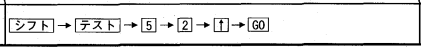
操作内容		キー入力順序（基本操作）	シーケンサCPU					
			Q		A		QnA	
			R	S	R	S	R	S
ヘルプ機能の共通操作[モニタ・テストモード]・現在値の表示形式変更		モニタ・テストモードで操作中→[ヘルプ]→[1]→[1]（16進数表示） [2]（10進数表示） [3]（8進数表示） [4]（アスキー表示） [5]（2進数表示）	○	○	○	○	○	○
ヘルプ機能の共通操作[書込・読出・挿入・削除・モニタ・テストモード]・カナコメントの表示		書込・読出・挿入・削除モードでのプログラム表示操作 →[ヘルプ]→[4]→[1] モニタ・テストモードでのプログラム表示操作 →[ヘルプ]→[4]→[2]	○	○	−	−	○	○
		書込・読出・挿入・削除モードでのプログラム表示操作 →[ヘルプ]→[2]→[1] モニタ・テストモードでのプログラム表示操作 →[ヘルプ]→[3]→[2]	−	−	○	○	−	−
ヘルプ機能の共通操作[書込・挿入モード]・拡張文字列の入力		書込・読出・挿入モードで操作中→[ヘルプ]→[1]→拡張文字表示 モニタ・テストモードで操作中→[ヘルプ]→[3]	○	○	−	−	○	○
命令入力	命令コードのみ	命令→[GO]	○	○	○	○	○	○
	命令コードとデバイス1つ	命令→[SP]→デバイス→デバイス番号→[GO]	○	○	○	○	○	○
	OUT T/C（命令キー入力）	[OUT]→デバイス→デバイス番号→[SP]→[K]→設定値→[GO]	○	○	○	○	○	○
	OUT T/C（デバイスキー入力）	[設定]→[0]→[U]→[T]→[SP]→デバイス→デバイス番号→[SP]→[K]→設定値→[GO]	○	○	○	○	○	○
	OUT 拡張T/C（命令キー入力）	[OUT]→デバイス→拡張デバイス番号→[GO]	○	○	○	○	○	○
	OUT 拡張T/C（デバイスキー入力）	[設定]→[0]→[U]→[T]→[SP]→デバイス→拡張デバイス番号→[GO]	○	○	○	○	○	○
	MC命令（命令キー入力）	[MC]→[N]→番号→[SP]→[M]→番号→[GO]	○	○	○	○	○	○
	MC命令（デバイスキー入力）	[設定]→[M]→[C]→[SP]→[N]→番号→[SP]→[M]→番号→[GO]	○	○	○	○	○	○
	上記以外（命令キー入力）	デバイス，ソースデータ，ディスティネーションの間に各々[SP]入力	○	○	○	○	○	○
	上記以外（デバイスキー入力）	命令とデバイス，ソースデータ，ディスティネーションの間に各々[SP]入力	○	○	○	○	○	○

	操作内容	キー入力順序（基本操作）	シーケンサCPU Q R	Q S	A R	A S	QnA R	QnA S
書込モード	NOPの連続書込み	書込みモード → [ヘルプ] → [2] → [2] → [1] → 開始ステップ指定 → [GO] での プログラム 表示操作 [2] → 開始ステップ指定 → [GO] 終了ステップ指定 → [GO]	×	○	−	−	×	○
		書込モードでの → [ヘルプ] → [1] → [2] プログラム表示操作 [1] → 開始ステップ指定 → [GO] → 最終ステップ指定 → [GO] [2] → 開始ステップ指定 → [GO]	−	−	×	○	−	−
	プログラムの書込み／修正（変更）	[シフト] → [書込] → [設定] → ステップ番号 → [GO] → 命令 → [GO] [↑] [↓]	△	○	−	−	△	○
		[シフト] → [書込] → [設定] → ステップ番号 → [GO] → 命令 → [GO] [↑] [↓]	−	−	△	○	−	−
読出しモード	ステップ番号指定による命令読出し	[読出] → [設定] → ステップ番号 → [GO] → [GO]	○	○	○	○	○	○
	命令指定による命令読出し	[読出] → 命令 → デバイス → デバイス番号 → [GO] [GO]	○	○	○	○	○	○
	デバイス指定による命令読出し	[読出] → [設定] → デバイス → デバイス番号 → [GO] [GO]	○	○	○	○	○	○
	自動スクロール	上記読出し操作 → [設定] → [↑] / [↓] [設定] → ステップ番号 → [↑] / [↓] [設定] → [SP] → [↑] / [↓]	○	○	○	○	○	○
	SFCブロック読出し	読出モードでの → [ヘルプ] → [3] → [1] → [読み出すブロックNo.] → [GO] プログラム表示操作	○	○	−	−	○	○
	SFCステップ読出し	読出モードでの → [ヘルプ] → [3] → [2] → [ブロックNo.] → [GO] プログラム表示操作 [ステップNo.] → [GO]	○	○	−	−	○	○
	SFCトランジション読出し	読出モードでの → [ヘルプ] → [3] → [3] プログラム表示操作	○	○	−	−	○	○
	SFC活性ステップ読出し	読出モードでの → [ヘルプ] → [3] → [4] → [ブロックNo.] → [GO] プログラム表示操作	○	○	−	−	○	○

	操作内容	キー入力順序（基本操作）	シーケンサCPU					
			Q		A		QnA	
			R	S	R	S	R	S
挿入モード	プログラムの挿入		△	○	−	−	△	○
			−	−	△	○	−	−
	プログラムの移動		×	○	−	−	×	○
			−	−	×	○	−	−
	プログラムのコピー		×	○	−	−	×	○
			−	−	×	○	−	−
削除モード	プログラムの削除		△	○	△	○	△	○
	プログラムの範囲指定削除		×	○	×	○	×	○
	NOPの一括削除		×	○	×	○	×	○

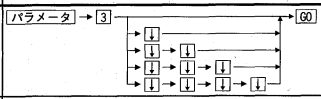
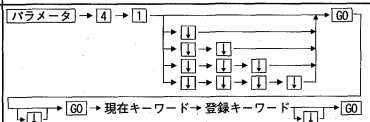
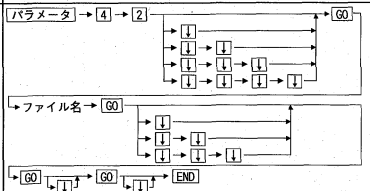
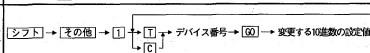
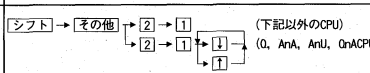
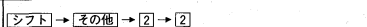
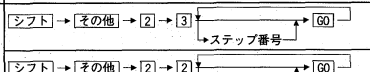
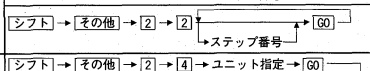
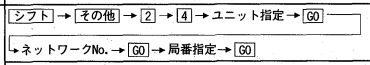
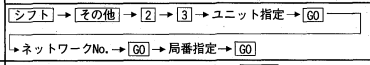
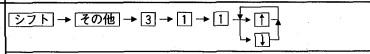
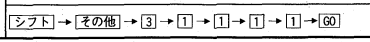
	操作内容	キー入力順序（基本操作）	シーケンサCPU					
			Q		A		QnA	
			R	S	R	S	R	S
モニタモード	リストモニタ		○	○	○	○	○	○
	モニタサーチ		○	○	○	○	○	○
	デバイスモニタ(ビット，ワード)		○	○	○	○	○	○
	SFCブロックモニタ		○	○	—	—	○	○
	オフラインスイッチの表示		—	—	○	○	—	—
テストモード	ビットデバイスのセット／リセット（リストモニタ時）		○	○	○	○	○	○

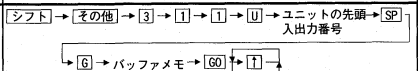
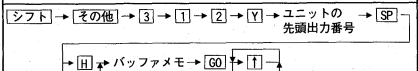
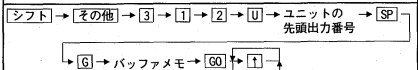
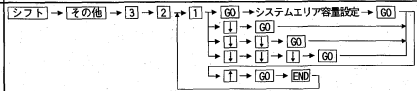
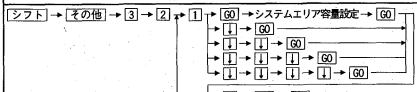
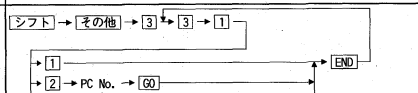
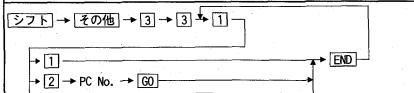
操作内容		キー入力順序（基本操作）	シーケンサCPU					
			Q		A		QnA	
			R	S	R	S	R	S
テストモード	ワードデバイスの現在値変更(リストモニタ時)		○	○	—	—	○	○
			—	—	○	○	—	—
	ビットデバイスのセット／リセット(デバイスモニタ時)		○	○	○	○	○	○

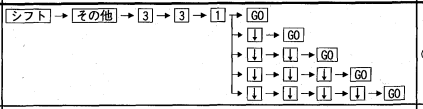
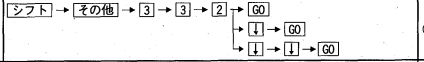
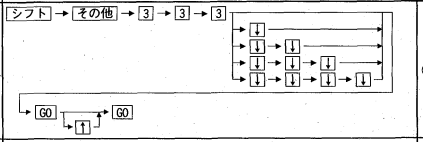
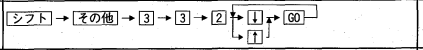
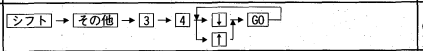
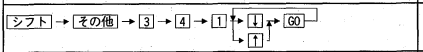
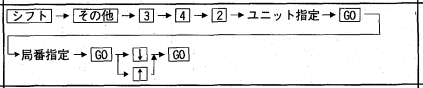
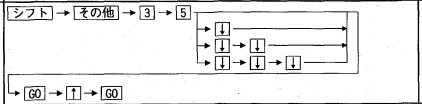
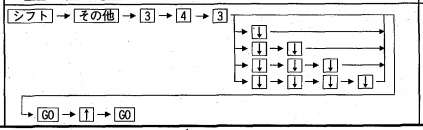
操作内容	キー入力順序（基本操作）	シーケンサCPU					
		Q		A		QnA	
		R	S	R	S	R	S
テストモード ワードデバイスの現在値変更（デバイスモニタ時）		○	○	—	—	○	○
		—	—	○	○	—	—
	オフラインスイッチの設定／解除		—	—	○	○	—	—
	強制入出力表示／登録／解除		○	○	—	—	—	—
	強制入出力一括解除		○	○	—	—	—	—

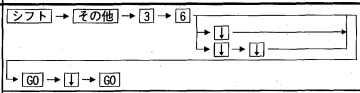
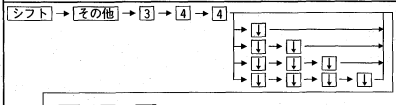
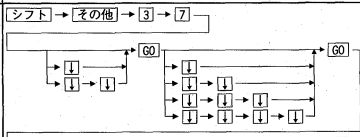
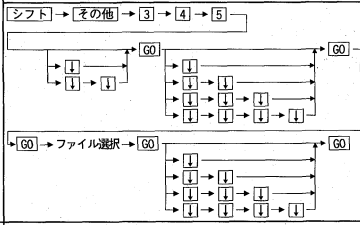
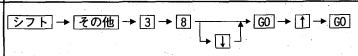
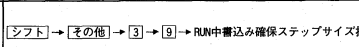
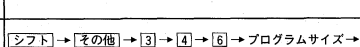
操作内容		キー入力順序（基本操作）	シーケンサCPU					
			Q		A		QnA	
			R	S	R	S	R	S
パラメータモード	パラメータのオールクリア	パラメータ → 1 → 1 → ↑ → GO	×	○	−	−	×	○
		パラメータ → 1 → ↑ → GO → END → ↑ → GO	−	−	×	○	−	−
	パラメータの部分クリア	パラメータ → 1 → 2 → GO → ↑ → GO （タイマ時間設定をクリアする場合）	×	○	−	−	×	○
	パラメータの設定(QCPU(Qモード)，QnACPUの場合)	パラメータ → 2 → ①	×	○	−	−	×	○
	タイマ時間設定	① → 1 → タイマ時間設定 → GO	×	○	−	−	×	○
	共通ポインタ設定	① → 2 → 共通ポインタ設定 → GO	×	○	−	−	×	○
	ラッチ範囲クリアキー有効	① → 3 → ラッチ範囲クリアキー有効 → GO → END	×	○	−	−	×	○
	ラッチ範囲クリアキー無効	① → 4 → ラッチ範囲クリアキー無効 → GO → END	×	○	−	−	×	○
	ローカルデバイス設定	① → 5 → ローカルデバイス設定 → GO → END	×	○	−	−	×	○
	WDT設定	① → 6 → WDT設定 → GO	×	○	−	−	×	○
	プログラム設定	① → 7 → プログラム設定 → GO → END	×	○	−	−	×	○
	ブートファイル設定	① → 8 → GO → ブートファイル名 → GO → ↓ → ↓ → GO ↓ → ↓ → GO → END → GO	×	○	−	−	×	○
	パラメータの設定(A0J2CPUの場合)	パラメータ → 2 → ①	−	−	×	○	−	−
	ラッチ範囲設定	① → 1 → ↑ → GO → ② ↓	−	−	×	○	−	−
	ステップリレー設定	① → 2 → ↑ → GO → ② ↓	−	−	×	○	−	−
	設定完了と書込み	② → クリア → END → ↑ 複数項まとめて設定も可。 GO （書込み完了表示）	−	−	×	○	−	−

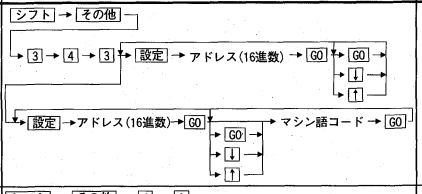
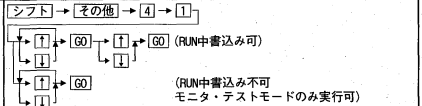
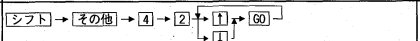
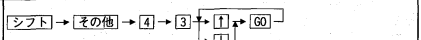
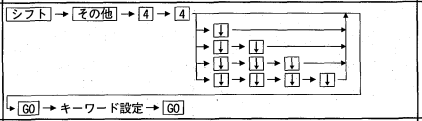
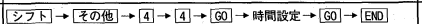
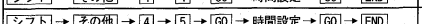
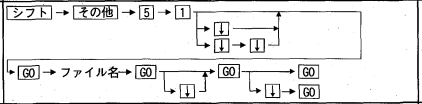
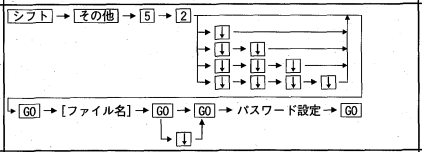
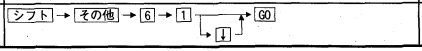
操作内容		キー入力順序（基本操作）	シーケンサCPU					
			Q		A		QnA	
			R	S	R	S	R	S
パラメータモード	パラメータの設定（AOJ2CPU 以外の場合）	[パラメータ] → [2] → ①	—	—	×	○	—	—
	メモリ容量設定	① → [1] → 容量 → [GO] → [END] → ②　（メイン用，入力単位：1Kステップ） ① → [1] → [↓] → 容量 → [GO] → [END] → ②　（サブ用，入力単位：1Kステップ） ① → [1] → [↓] → 点数 → [GO] → [END] → ②　（ファイルレジスタ用，入力単位：1K点）	—	—	×	○	—	—
	M,L,S設定（AnA,AnU CPU以外の場合）	① → [2] → Lの先頭番号 → [GO] → Sの先頭番号 → [GO] → ②	—	—	×	○	—	—
	M,L,S設定（AnA,AnU CPUのみ）	① → [2] → Lの先頭番号 → [GO] → Sの先頭番号 → [GO] → Mの先頭番号 → [GO] → ②	—	—	×	○	—	—
	タイマ設定（AnACPU 以外の場合）	① → [3] → タイマの先頭番号 → [GO] → ②	—	—	×	○	—	—
	タイマ設定（AnACPU）	① → [3] → タイマの点数 → [GO] → 設定値格納用先頭デバイス → [GO] → タイマの先頭番号 → [GO] → ②	—	—	×	○	—	—
	カウンタ設定（AnACPUのみ）	① → [4] → カウンタの点数 → [GO] → 設定値格納用先頭デバイス → [GO] → ②	—	—	×	○	—	—
	ラッチ範囲設定	① → [5] → [↑][↓] → ラッチ先頭番号 → [GO] → [↑][↓] → [GO] → [END] → ② → ラッチ終了番号 → [GO]	—	—	×	○	—	—
	WDT設定（AOJ2,A2A,A2U,A3H,A3M,A3A,A3U,A4UCPUを除く）	① → [6] → WDT値 → [GO] → ②　（入力単位：10ms）	—	—	×	○	—	—
	I/O制御方式の設定（A3H,A3MCPUのみ）	① → [7] → [↑][↓] → [GO] → ②	—	—	×	○	—	—
	キーワード設定	① → [8] → キーワード → [GO] → ②　（16進数の最大6桁）	—	—	×	○	—	—
	設定完了と書込み	② → [クリア] → [END] → [↑] 複数項まとめて設定も可。 → [GO]　（書込み完了表示）	—	—	×	○	—	—

	操作内容	キー入力順序（基本操作）	シーケンサCPU Q R	Q S	A R	A S	QnA R	QnA S
パラメータモード	対象メモリ選択		—	—	—	—	×	○
	ドライブ キーワード 設定		—	—	—	—	×	○
	ファイル 属性設定		—	—	—	—	×	○
その他モード	RUN中での T/C設定値の変更		○	○	—	—	○	○
	エラーステップ読出し (エラーチェック)		○	○	○	○	○	○
	アナンシェータ表示		○	○	—	—	○	○
	プログラムのチェック		○	○	—	—	○	○
			—	—	○	○	—	—
	リンク交信テスト (MELSECNET /10)		—	—	○	○	—	—
			—	—	—	—	○	○
	リンク モニタ		—	—	○	○	—	—
			—	—	—	—	○	○

操作内容	キー入力順序（基本操作）	シーケンサCPU					
		Q		A		QnA	
		R	S	R	S	R	S
その他モード	バッファレジスタ（バッファメモリ）一括モニタ		○	○	−	−	−	−
			−	−	○	○	−	−
			−	−	−	−	○	○
	時計モニタ	シフト → その他 → 3 → 1 → 2	○	○	−	−	−	−
		シフト → その他 → 3 → 1 → 3	−	−	○	○	○	○
	ターミナル	シフト → その他 → 3 → 1 → 3	○	○	−	−	○	○
	PCメモリオールクリア	シフト → その他 → 3 → 2 → GO → ↑ → GO	−	−	×	○	−	−
	PCメモリフォーマット		×	○	−	−	−	−
			−	−	−	−	×	○
	プログラムオールクリア	シフト → その他 → 3 → 2 → 2 → ↑ → GO	×	○	×	○	×	○
	デバイスメモリオールクリア	シフト → その他 → 3 → 2 → 3 → ↑ → GO	×	○	×	○	×	○
	PC No.設定		−	−	○	○	−	−
			−	−	−	−	○	○

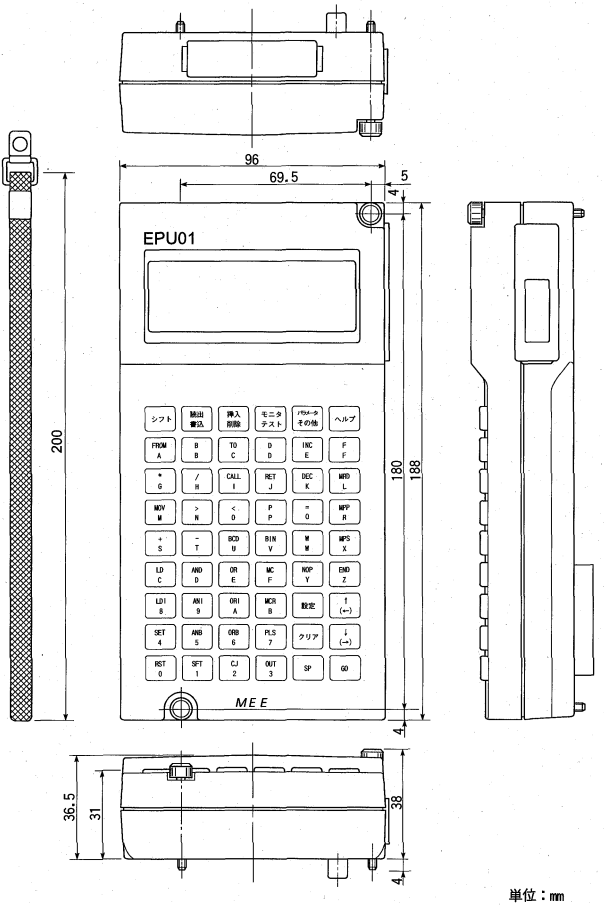
操作内容		キー入力順序（基本操作）	シーケンサCPU Q R	Q S	A R	A S	QnA R	QnA S
その他モード	号機指定		○	○	－	－	－	－
	プログラム選択		○	○	－	－	○	○
	デバイスコメント選択		○	○	－	－	○	○
	メイン／サブ切換え		－	－	○	○	－	－
	リモート RUN／STOP		○	○	－	－	－	－
			－	－	○	○	○	○
	リンク起動／停止 (MELSECNET /10)		－	－	○	○	○	○
	PCメモリ整理整頓		×	○	－	－	－	－
			－	－	－	－	×	○

操作内容	キー入力順序（基本操作）	シーケンサCPU					
		Q		A		QnA	
		R	S	R	S	R	S
その他モード プログラム削除		×	○	−	−	−	−
		−	−	−	−	×	○
その他モード ファイルコピー		×	○	−	−	−	−
		−	−	−	−	×	○
プログラムメモリのROM化		○	○	−	−	−	−
確保ステップサイズ設定		×	○	−	−	−	−
プログラムサイズ変更		−	−	−	−	×	○

	操作内容	キー入力順序（基本操作）	シーケンサCPU Q R	Q S	A R	A S	QnA R	QnA S
その他モード	マシン語読出し／書込み		−	−	×	○	−	−
	プログラムモード選択		○	○	−	−	○	○
	導通状態表示		○	○	○	○	○	○
	キー入力時のブザーON/OFF		○	○	○	○	○	○
	キーワード入力		−	−	−	−	×	○
	交信待ち時間設定		○	○	−	−	−	−
			−	−	−	−	○	○
	パスワード設定		×	○	−	−	−	−
	パスワード入力		○	○	−	−	−	−
	ベース情報		○	○	−	−	−	−

操作内容		キー入力順序（基本操作）	シーケンサCPU					
			Q		A		QnA	
			R	S	R	S	R	S
その他モード	CPU／ユニット情報	シフト → その他 → 6 → 2 → ↓ → ↑ → GO → C → GO → 1 → C → GO → 2 → 0～B → GO → 1 → ユニット詳細情報 → 0～B → GO → 2 → ↓	○	○	－	－	－	－
	強制入出力表示／登録／解除	シフト → その他 → 7 → 1 → デバイス名 → GO → ↓ → GO	○	○	－	－	－	－
	強制入出力一括解除	シフト → その他 → 7 → 2 → ↑ → GO	○	○	－	－	－	－

付録2　外形寸法図



単位：mm

メ　モ

製品保証内容

ご使用に際しましては、以下の製品保証内容をご確認いただきますようよろしくお願いいたします。

無償保証期間と無償保証範囲

無償保証期間中に製品に当社側の責任による故障や瑕疵（以下併せて「故障」と呼びます）が発生した場合、当社はお買い上げいただいた販売店を通してご返却いただき、無償で製品を修理させていただきます。

■無償保証期間

製品の無償保証期間は、お客様にてご購入後またはご指定場所に納入後１年間とさせていただきます。
ただし、当社製品出荷後の流通期間を最長６ヶ月として、製造から18ヶ月を無償保証期間の上限とさせていただきます。
また修理品の無償保証期間は、修理前の保証期間を超えて長くなることはありません。

■無償保証範囲

使用状態、使用方法および使用環境などが、取扱説明書、ユーザーズマニュアル、製品本体注意ラベルなどに記載された条件、注意事項などに従った正常な状態で使用されている場合に限定させていただきます。

生産中止後の有償修理期間

(1) 当社が有償にて製品修理を受け付けることができる期間は、その製品の生産中止後７年間です。
　生産中止に関しましては、販売店経由にて連絡いたします。
(2) 生産中止後の製品供給（補用品も含む）はできません。

機会損失、二次損失などへの保証責務の除外

無償保証期間の内外を問わず、当社の責任に帰することができない事由から生じた損害、当社の製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の予見の有無に問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、当社製品以外への損傷およびその他の業務に対する保証については、当社は責任を負いかねます。

製品仕様の変更

カタログ、マニュアルもしくは技術資料に記載されている仕様は、お断りなしに変更される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

三菱電機エンジニアリング株式会社
MITSUBISHI ELECTRIC ENGINEERING COMPANY LIMITED

営業統括部	〒105-0011　東京都港区芝公園2-4-1（秀和芝パークビル） TEL（03）3437-2675　FAX（03）3437-2676
東日本営業所（関東甲信越以北担当）	〒105-0011　東京都港区芝公園2-4-1（秀和芝パークビル） TEL（03）3437-1394　FAX（03）3437-2676
中日本営業所（東海北陸地区担当）	〒450-0002　名古屋市中村区名駅三丁目14番16号（東洋ビル） TEL（052）565-3435　FAX（052）541-2558
西日本営業所（近畿以西担当）	〒530-0001　大阪市北区梅田二丁目5番25号（ハービスOSAKA） TEL（06）6347-2992　FAX（06）6347-2983
中国営業G	〒730-0037　広島市中区中町7-41（三栄第一ビル） TEL（082）248-5390　FAX（082）248-5391
九州営業所（九州地区担当）	〒810-0001　福岡市中央区天神4-6-7（天神クリスタルビル） TEL（092）721-2202　FAX（092）721-2109

オペレーションに関するお問い合わせは

産業システム事業部
技術サポートセンター（開発企画部）
TEL.052-723-1817　FAX.052-723-1957
受付／9:00～17:00　月曜～金曜（土曜・日曜・祭日は除く）

この印刷物は2000年9月の発行です。なお、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。
この標準価格には消費税は含まれておりません。ご購入の際には消費税が付加されますのでご承知おき願います。
本マニュアルは、再生紙を使用しています。

2000年9月作成
50EM8074-B